

# パスワードの使い回しは危険!

～安全なパスワードで被害を最小限に～

パスワードを含むアカウント情報は、あなたが使用しているパソコンやスマートフォンからだけではなく、利用しているサイトやSNSから流出してしまうこともあります。

パスワードを使い回していると、「パスワードリスト攻撃」により、個人情報や財産が盗み取られるなどの被害に遭う危険性が高まります。

「パスワードリスト攻撃」とは、犯罪者がどこからか入手してきたアカウントIDやパスワードのリストを用いて、「他のサイトも同じパスワードではないか」と推測し、不正アクセスを試みるサイバー攻撃です。

## 《実例》

令和2年中、携帯電話のネットワーク暗証番号(数字4桁)や銀行口座の暗証番号をそれぞれ使い回していた利用者らが、フィッシングサイトに誘導されてパスワード等を盗まれた上、使い回し先の銀行口座に不正アクセスされ、全国の17都道府県で、合計約9,300万円ものお金が不正に送金され、だまし取られる被害が発生しています。



CS | NEWS  
サイバーセキュリティ・ニュース

令和3年7月発行

## パスワードチェックをしてみよう

- IDとパスワードが同じ
- パスワードに自分の名前、電話番号、誕生日をそのまま使っている
- パスワードに、『1234』『1111』『abcd』等の単純な羅列を使っている
- パスワードに辞書にある単語をそのまま使っている
- 複数のサービスやSNSで同じパスワードを使い回している
- 他人に一度でもパスワードを教えたことがある

一つでもチェックがあれば  
見直しを考えてみては？

## 安全なパスワードとは(例)

- ①最低でも10文字以上
- ②数字や記号を混ぜる
- ③アルファベットは大文字と小文字の両方を入れる
- ④サービスごとに異なるパスワード

お金や個人情報を守るために、推測されにくいパスワードを!



引用: NISC 内閣サイバーセキュリティセンター WEBサイト